実践記録

「志津里山自然学校」プログラム④
「学んで料理して楽しもう」

実施日	活動場所	参加者	講師	スタッフ
2023.11.19 10:15～14:45	志津まちづくりセンター	64名 1期生12名 2期生27名 里地25名	1名 奥村平一先生	13名 まち協 5名 市3名　レイカディア大学生5名

前日準備(11.18)　13:15～17:00



○スタッフ打合せ➡クラフト活動準備と調理準備に分かれて打合せ

○クラフト活動準備・・大会議室にブルーシートを敷き、作業台(長机)と椅子の設置、班表示等を行う。
設営後は親子で明日作成する作品を考える。

○調理準備・・　レシピ説明後、豚汁の具材やさつまいも餅づくり等の準備をする。
(豚汁の具材は煮るところまで　さつまいも餅は成形まで　米は6升を洗米)

あいさつ・活動説明等　10:15～10:20



■司会・進行・・水野

①「志津里山自然学校」山元校長の挨拶

②本日の活動説明

※1期生、2期生、スタッフ、レイカディア大学生等の混合班で活動することも説明する。

クラフト活動と調理に分かれて活動　10:20～11:30



＜クラフト活動＞

○担当:木村様(リーダー)　スタッフ　2期生　里地

○場所:大会議室

○ねらい:自然の素材を使い自由にデコレートして記念になる作品を作って楽しもう！

○活動内容:

9班に分かれて制作活動をする。

①活動説明:制作物のイメージ化を図るため参考例を提示して説明。作業手順と工具類取扱いの注意事項を説明。

②制作開始

松ぼっくりやどんぐり、小枝類、デコレート小物を使い、グルーガンや紐などで制作する。

③後片付け

＜調理＞

○担当:政川様(リーダー)　スタッフ　1期生　里地

○場所:調理室

○活動内容

・白ご飯・・炊飯

・豚汁・・具材を煮込む

・さつまいも餅・・成形したさつまいも餅をフライパン・ホットプレートで焼く

・里芋・・一口大にして素揚げ

・ピーナッツかぼちゃ・・フライパンで炒める

・おにぎり・・サランラップで包む

・盛り付け・・紙皿にはさつまいも餅3個とおにぎり2個
ピーナッツかぼちゃの炒め物、里芋の素揚げを
耐熱お椀には豚汁を



大・小会議室の設営と配膳　11:30～12:05



○9班分の机と椅子のセッテング
当初子どもは別室で活動する予定であったが、大人と一緒に準備にあたる。

○配膳
配膳の仕方や諸注意を聞く　➡調理担当者が各班に配膳する

お楽しみランチタイム　12:05～13:00

自己紹介等をしながら班で親睦を深める。

○各班で後片付け　12:50

実践記録

昔の里山と人々のくらしに関する話　13:00～13:45



■講師・・・奥村平一先生（「志津里山自然学校」が使用してる里山の地権者）

昔の里山の様子や暮らしぶり、人々の里山への関わり等について写真を提示しながら説明いただく。

①昔の里山の様子・・生き物の生息・生育の様子について（松林では・・　小川では・・）

②昔の人々の里山へのかかわり・・里山の資源を必要に応じて活用していた（柴づくり　薪づくり）

③人々の生活の変化による里山の変化・・電気やガスの普及により里山の必要性がなくなった

④おわりに・・「暮らしにはいろいろある。どの暮らしがかけてもいけない。お互い助け合って生きていく必要がある。おじいさんおばあさんになったら、山のくらしにあこがれてほしい。」

⑤質問タイム・・「昔は楽しかったの」「昔は電気があったの」「昔はどんな道具を使っていたの」など



活動交流　13:45～14:35

各班で自団体の取組を紹介し合う。各班の司会・進行は、1期生やスタッフが担当する。

①活動交流の説明（水野）　※特に「人との交流」と「活動の交流」を大事にしてほしいことを伝える。

②各班で交流　〇進行役より交流のやり方を説明する

〇紹介する自団体の活動を考える

〇一人ずつ自団体の活動を紹介する

〇質問タイム

〇フリートーキング　※今後の活動でやってみたいことを中心に交流する。



③各班で話し合ったことを発表

予定にはなかったことだが、話合いを記録したホワイトボードを基に子どもたちが意欲的に発表する。

時間の都合で発表は3つの班に限られたが、日頃は見ない我が子の姿に驚く保護者もおられた。

連絡・振返り　14:35～14:45



今日一日の活動を振返りアンケート用紙に記入する。（以下感想例）

質問1　一番楽しかったこと・心に残ったことは？

・木を使ってクラフトをしたのが楽しかった。ドングリに目をつけるとかわいくなってうれしかったです。

・はじめに料理を手伝うのも楽しかったし、ご飯とかがおいしかった。

・活動交流で意見を出し合ったことと発表したこと。

・子どもと話し合いながらのクラフト作業が楽しく、作り始めると大人も楽しいです。料理がおいしかった。

・前日準備から参加して、大勢の人で当日に楽しめたことです。

・これからやりたいことをホワイトボードでみんなで話したことが楽しかったです。



質問2　新しい発見・初めて知ったことは？

・昔の里山と人々のくらしで、ガスはほとんど使っていなかったり、おふろはまきで火をたいてお湯を沸かすっていうことをはじめて知りました。

・奥村さんの話で昔の暮らしがいろいろと分かった。遊びの中からいろいろと学ぶことがあると思った。

・子どもが工作で新しいアイディアを出していて、上手に作れるようになったと思います。人前で発表をしている姿を見て驚きました。



質問3　その他　思ったことなどは？

・山でキャンプやしゅうかく祭がしたいです。森の木や竹で昔の道具が作りたいです。

・みんなで班ごとにごはんを食べれてよかったです。とても楽しかったです。

・今後やりたいことを話し合うのはとてもよかった。子どもが自然に触れる機会は大切にしていきたい。

・子どもたちと自然の大切さを体験できるこの里山自然学校は本当に楽しくて大切なことだと思います。

・各々のやりたいことだけでなく、里地・里山両方で何かできないかと考えている子どももいて感心した。

■本実践の評価は別紙参照

別紙　令和5年度「志津里山自然学校」プログラム④の評価